

# 施策評価調書(1)

評価対象年度 令和3年度

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	1 健康を育むまちづくり
施策関係課	(保健部)保健総務課・新型コロナウイルスワクチン接種推進室・管理課・疾病対策課・地域保健センター・食品衛生課・衛生検査課・国民健康保険課・高齢者保険事業室・看護専門学校

**●施策の基本方針(目標)**

市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

**●目標指標**

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査: I-1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	47.1(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	49.800	0.000				
指標②	名称	川口市民の65歳健康寿命(男性)				単位	年
	目標値	17.74(令和7年度)		現状値	16.90(平成30年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	17.050	0.000				
指標③	名称	川口市民の65歳健康寿命(女性)				単位	年
	目標値	20.89(令和7年度)		現状値	20.00(平成30年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	20.200	0.000				
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度予算額	令和5年度計画額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
事業額	事業費	13,208,128	10,058,512	6,491,880	0	0
	概算人件費	1,412,046	1,372,416	1,255,222	0	0
	総事業費	14,620,174	11,430,928	7,747,102	0	0

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 52	単位施策② 52	単位施策③ 52	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			52.0	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度 令和3年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業名称		担当課	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和3年度の	令和4年度の
			事業費 (決算額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)	事業費 (計画額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
新型コロナウイルスワクチン接種事業	保健部	5,365,214	3,475,216	—	—	—	53	他事業に統合 されて実施	
	新型コロナウイルス ワクチン接種推進室	173,800	123,200	—	—	—			
不妊治療支援事業	保健部	358,152	178,473	75,217	0	0	60	縮小して実施	
	地域保健センター	15,800	15,400	15,400	0	0			
健康推進事業	保健部	1,339	2,451	2,451	0	0	48	現状維持で実 施	
	保健総務課	316	308	308	0	0			
健康フェスティバル事業	保健部	39	3,678	3,678	0	0	44	現状維持で実 施	
	保健総務課	5,135	5,005	5,005	0	0			
食生活改善推進事業	保健部	652	1,065	1,357	0	0	50	現状維持で実 施	
	保健総務課	4,977	4,851	4,851	0	0			
じん肺健康診断費補助事業	保健部	2,119	2,500	2,500	0	0	56	現状維持で実 施	
	保健総務課	395	385	385	0	0			
その他保健衛生総務費	保健部	1,349	4,305	4,305	0	0	54	現状維持で実 施	
	保健総務課	1,975	1,925	1,925	0	0			
専門職員等研修費	保健部	606	2,408	2,408	0	0	52	現状維持で実 施	
	管理課	2,370	2,310	2,310	0	0			
衛生関連免許事業	保健部	48	58	58	0	0	50	現状維持で実 施	
	管理課	3,950	3,850	3,850	0	0			
肝炎治療費助成事業	保健部	157	224	228	0	0	60	現状維持で実 施	
	疾病対策課	15,800	15,800	15,800	0	0			
感染症予防対策事業	保健部	1,381,139	957,948	957,948	0	0	60	効率化して実 施	
	疾病対策課	213,300	215,600	215,600	0	0			
精神保健福祉支援事業	保健部	26,103	47,444	47,444	0	0	58	拡充して実施	
	疾病対策課	79,000	84,700	84,700	0	0			
予防接種事業	保健部	1,652,914	1,853,908	1,853,908	0	0	58	現状維持で実 施	
	地域保健センター	15,800	15,400	23,100	0	0			
母子健康手帳交付・妊婦健康診査等 事業	保健部	517,508	436,163	455,736	0	0	58	現状維持で実 施	
	地域保健センター	7,110	7,110	7,110	0	0			
乳幼児健康診査・健康相談事業	保健部	125,476	153,080	145,132	0	0	56	拡充して実施	
	地域保健センター	102,700	100,100	100,100	0	0			
がん検診事業	保健部	795,401	777,814	777,743	0	0	54	現状維持で実 施	
	地域保健センター	30,020	36,190	36,190	0	0			
健康診査事業	保健部	73,819	80,420	80,420	0	0	56	現状維持で実 施	
	地域保健センター	10,270	10,010	10,010	0	0			
成人健康づくり事業	保健部	2,302	4,644	4,630	0	0	52	効率化して実 施	
	地域保健センター	40,290	39,270	39,270	0	0			
歯と口の健康フェスティバル事業	保健部	0	1,492	1,492	0	0	0	現状維持で実 施	
	地域保健センター	0	15,400	15,400	0	0			
食品衛生事業	保健部	1,375	4,047	4,047	0	0	54	現状維持で実 施	
	食品衛生課	103,332	101,409	107,800	0	0			
食肉衛生検査事業	保健部	12,699	16,802	16,802	0	0	54	現状維持で実 施	
	食品衛生課	55,300	53,900	53,900	0	0			
衛生検査事業	保健部	139,088	90,973	90,973	0	0	54	拡充して実施	
	衛生検査課	86,900	92,400	84,700	0	0			

単位施策名		② 医療体制の充実						
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
小児夜間等救急診療事業	保健部	149,361	156,637	156,637	0	0	50	現状維持で実施
	保健総務課	9,480	9,240	9,240	0	0		
新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関支援事業	保健部	1,110,956	212,569	212,569	0	0	56	現状維持で実施
	保健総務課	7,900	7,700	7,700	0	0		
在宅当番医制事業	保健部	23,309	23,311	23,311	0	0	50	現状維持で実施
	保健総務課	1,422	1,386	1,386	0	0		
在宅歯科診療事業	保健部	11,123	11,131	11,131	0	0	40	現状維持で実施
	保健総務課	1,422	1,386	1,386	0	0		
病院群輪番制運営事業	保健部	31,044	31,045	31,045	0	0	50	現状維持で実施
	保健総務課	2,765	2,695	2,695	0	0		
外国人未払医療費対策事業	保健部	1,610	0	540	0	0	56	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	385	0	0		
公的医療機関運営費補助事業	保健部	151,958	163,868	163,868	0	0	52	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	385	0	0		
済生会川口看護専門学校補助事業	保健部	4,270	4,270	4,270	0	0	56	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	385	0	0		
済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	保健部	8,120	9,300	9,300	0	—	56	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	385	0	—		
骨髄移植ドナー支援事業	保健部	420	840	840	0	0	42	現状維持で実施
	保健総務課	316	308	308	0	0		
医師会補助事業	保健部	2,547	2,547	2,547	0	0	56	現状維持で実施
	保健総務課	395	0	385	0	0		
医療安全相談事業	保健部	0	50	50	0	0	44	現状維持で実施
	管理課	2,370	2,310	2,310	0	0		
医療施設指導等事業	保健部	3,815	3,834	3,834	0	0	56	現状維持で実施
	管理課	15,800	15,400	15,400	0	0		
薬事関連施設指導等事業	保健部	93	150	150	0	0	54	現状維持で実施
	管理課	15,800	15,400	15,400	0	0		
献血推進事業	保健部	2,082	3,030	2,494	0	0	50	効率化して実施
	管理課	2,765	3,465	2,695	0	0		
難病支援事業	保健部	16,824	20,065	20,065	0	0	56	現状維持で実施
	疾病対策課	47,400	46,200	46,200	0	0		
奨学金貸付事業	保健部	22,890	25,200	25,200	0	0	58	現状維持で実施
	看護専門学校	7,900	7,700	7,700	0	0		
看護学科運営費	保健部	19,066	20,137	20,137	0	0	58	現状維持で実施
	看護専門学校	94,800	88,400	88,400	0	0		

単位施策名		③ 医療保険制度の充実						
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (予算額)	令和5年度 事業費 (計画額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和3年度の 総評価	令和4年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
被保険者証発送事務費	保健部	50,750	56,141	56,141	0	0	54	効率化して実施
	国民健康保険課	67,940	66,220	66,220	0	0		
国保給付事務費	保健部	76,891	81,289	81,289	0	0	50	効率化して実施
	国民健康保険課	7,900	7,700	7,700	0	0		
賦課事務経費	保健部	74,576	79,397	79,397	0	0	54	現状維持で実施
	国民健康保険課	82,081	80,003	80,003	0	0		
事務処理標準システム導入事業	保健部	96,099	—	—	—	—	52	完了
	国民健康保険課	790	—	—	—	—		
国民健康保険運営協議会経費	保健部	217	812	812	0	0	56	現状維持で実施
	国民健康保険課	2,370	2,310	2,310	0	0		
保健衛生普及事業	保健部	19,183	20,236	20,236	0	0	54	現状維持で実施
	国民健康保険課	5,530	5,390	5,390	0	0		
後発医薬品利用促進事業	保健部	309	738	738	0	0	52	現状維持で実施
	国民健康保険課	5,530	5,390	5,390	0	0		
疾病予防事業	保健部	168,033	218,960	218,960	0	0	50	現状維持で実施
	国民健康保険課	5,530	5,390	5,390	0	0		
特定健康診査事業費	保健部	377,376	391,607	391,607	0	0	54	現状維持で実施
	国民健康保険課	17,380	16,940	16,940	0	0		
特定保健指導事業費	保健部	27,677	43,020	43,020	0	0	52	現状維持で実施
	国民健康保険課	15,800	15,400	15,400	0	0		
健康診査事業	保健部	164,692	198,393	198,393	0	0	52	現状維持で実施
	高齢者保険事業室	2,370	2,310	2,310	0	0		
人間ドック検診料助成事業	保健部	105,790	152,284	152,284	0	0	48	現状維持で実施
	高齢者保険事業室	2,370	2,310	2,310	0	0		
後期高齢者医療保険料徴収関係経費	保健部	29,548	32,538	32,538	0	0	52	効率化して実施
	高齢者保険事業室	15,800	15,400	15,400	0	0		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	新型コロナウイルスワクチン接種事業				担当	保健部	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9650	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	予防接種法

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種を希望する者	予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種を受けた者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	新型コロナウイルス感染症に係る予防接種は、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図ることを目的とする。	予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン接種の実施	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・診療所や有床病院等の市内医療機関での予防接種の実施・市役所第一本庁舎や公民館等における予約サポートの実施・予防接種の対象者へ接種券の発送・コールセンターの運営・予防接種予約受付システムの運営・集団接種会場の運営・新型コロナウイルス感染症予防接種証明書の発行	ワクチン接種状況(令和4年3月31日時点) 12歳以上(令和3年1月1日時点人口548,137人) 1回目接種478,172人 接種率87.2%、2回目接種474,223人 接種率86.5%、18歳以上(2回目接種完了日から6か月経過後の人数351,682人) 3回目接種245,826人 接種率69.9%	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	2 細目	2 細々目	新型コロナウイルスワクチン接種事業					
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	0	0		8,898,499		3,475,216	0					
決算額(B)=(C)+(D)	0	21,617		5,365,214								
財源※	特定財源(C)	21,617		5,365,214		3,475,216						
	一般財源(D)	0		0		0						
概算人件費(E)	0		15,800		173,800		123,200		0			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	2.00	0.00	22.00	0.00	16.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		37,417		5,539,014		3,598,416		0			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施期間は令和3年2月17日から令和5年3月31日までと示されていることから、引き続き感染拡大を防止するため、ワクチン接種事業を実施する。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	不妊治療支援事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	少子化社会対策基本法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	不妊症及び不妊症の疑いがあるか、または診断された夫婦(事実婚を含む)。	左記に加え、検査及び治療の開始日に妻の年齢が43歳未満。また、先進医療不妊症検査の助成対象者は、先進医療不妊症検査を受検した者。	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	・不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる、配偶者間の不妊治療に要する費用の一部助成を行う。・生殖医療専門医による相談事業(埼玉医科大学総合医療センター委託)を行うことにより、不妊症や不妊症に悩む夫婦の不安や悩みを軽減する。	・早期不妊検査費・不妊症検査費助成事業、先進医療不妊症検査費助成事業、特定不妊治療費助成事業・年齢や治療内容に応じ、費用の一部を助成。・川口市不妊専門相談センターの案内。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・不妊検査費・不妊症検査費助成事業、先進医療不妊症検査及び特定不妊治療費助成事業の申請受付により、助成金の交付を実施。不妊症及び不妊症について周知し、併せて不妊専門相談センターを案内。	助成金の交付により、特定不妊治療等にかかる高額な医療費の負担軽減が図れた。また、不妊専門相談センターについては、不妊検査や治療に悩む夫婦に対し、生殖医療専門医による情報提供及び相談指導を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	8目	3細目	7細々目	不妊治療支援事業	
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	
予算額(A)	171,522	185,005		407,932		178,473	75,217	
決算額(B)=(C)+(D)	152,676	184,642		358,152				
財源※	特定財源(C)	76,627	79,551	164,910	83,972			
	一般財源(D)	76,049	105,091	193,242	94,501			
概算人件費(E)	11,850	11,850		15,800		15,400	15,400	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	152,676	184,642		373,952		193,873	90,617	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
60 /60	助成申請に対して、速やかに交付決定手続きが行えるよう、人員の確保維持。令和4年度より特定不妊治療が保険適用となることから、切れ目のない健康支援を実施する方向へ制度改善に向けて、国や他の自治体の動向を注視していく。	翌年度 縮小して実施 翌々年度 縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	健康推進事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食育基本法、自殺対策基本法、川口市地域保健審議会条例、川口市補助金等交付規則、健康管理士一般指導員資格取得者補助金交付要綱他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	健康で活気に満ちた街づくりを推進するため、市民の心身の健康・生きがいづくりを支援する。	・地域保健審議会の開催・健康・生きがいづくり通信の発行・受動喫煙防止啓発チラシ発行・健康応援アプリ「Sun-歩」運用・地域健康指導者資格取得者への補助	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・地域保健審議会開催(8月・3月)・受動喫煙防止啓発資料作成・健康応援アプリ「Sun-歩」運用・地域健康指導者資格取得者へ補助金交付	地域の健康・生きがいづくりに関する諸施策を総合的に推進できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域健康指導者資格の取得者			指標・目標値の説明(算定式)	健康管理士一般指導員と健康・生きがいづくりアドバイザー資格取得者の計				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	8.00		8.00		8.00		8.00		8.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	4 細目	1 細々目	健康推進事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	6,470	2,563		2,027		2,451		2,451		
決算額(B)=(C)+(D)	5,748	1,399		1,339						
財源※	特定財源(C)	184		0		0		0		
	一般財源(D)	5,564		1,399		1,339		2,451		2,451
概算人件費(E)	316		316		316		308		308	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,748		1,399		1,655		2,759		2,759	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	地域健康指導者の資格取得については、健康に関するボランティア活動の増加につなげる目的であるので、単純な資格取得補助にならないよう引き続きしていく。 健康応援アプリ「Sun-歩」については、利用者を更に増やせるように業者と連携し、市民ニーズに合致したものにしてい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	健康フェスティバル事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口健康フェスティバル実行委員会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民川口健康フェスティバル実行委員会	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、市民主役の健康づくりの実現につなげる。	・川口健康フェスティバルの開催	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。イベント内で実施予定だった保健・医療・健康づくりに係る功労者表彰のみ11月上旬に郵送にて実施。実行委員会は、書面会議1回実施。	保健・医療・健康づくりに係る功労者に対する表彰を行い、本市の保健・医療の向上及び市民の健康増進への貢献に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康体験コーナー来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の体験コーナー来場者数の平均値				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	723.00		630.00		0.00		451.00		451.00
	実績値・達成状況	584.00	未達成	0.00	未達成	0.00	達成			
指標②	名称	健康に係る講演会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の講演会来場者数の平均値				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	476.00		379.00		0.00		285.00		285.00
	実績値・達成状況	253.00	未達成	0.00	未達成	0.00				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	4 細目	2 細々目	健康フェスティバル事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	3,050	2,935		65		3,678		3,678		
決算額(B)=(C)+(D)	2,165	51		39						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,165		51		39		3,678		3,678
概算人件費(E)	5,135		5,135		5,135		5,005		5,005	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,300		5,186		5,174		8,683		8,683	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、部分実施(表彰のみ郵送にて)となった。今後の状況にもよるが、新しい生活様式等を踏まえた内容に改める必要がある。また、業務の効率化を図るため、事業内容の大幅な見直しが必要。事業内容を委託することを視野に入れ、業者との打合せ及び調整を引き続き行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	食生活改善推進事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	229-3199	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市食生活改善推進員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	食育等に関する様々なボランティア活動を行っている川口市食生活改善推進員に研修等を行い、地域の食生活の改善を図る。	・食生活改善推進員リーダー研修・食生活改善推進員養成講座	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	地域保健センター栄養士を講師とした「リーダー研修」を実施(講座6回、調理実習3回)。例年8月に行なっている食育等の知識の向上を目的とした夏期学習会は新型コロナの影響で中止。10～12月に食生活改善推進員養成講座を実施。	新型コロナの影響により、研修回数が減ったが、各研修により会員の質を向上させることができた。当協議会は市内で各種料理教室開催等のボランティア活動を実施しており、会員の質の向上が市民の食生活の改善に寄与している。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	食生活改善推進員養成講座参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受講者数を基に算定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況	22.00	未達成	0.00	—	15.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	1目	4細目	3細々目	食生活改善推進事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	1,370	1,370		1,357		1,065	1,357			
決算額(B)=(C)+(D)	1,032	356		652						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,032	356		652		1,065	1,065		
概算人件費(E)	4,977	4,977		4,977		4,851	4,851			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,009	5,333		5,629		5,916	6,208			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	会員の高齢化が進んでいることから、今後の活動を行っていくうえで、いかに新規会員を増やしていくかが課題で、今後も引き続き周知方法等の検討が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	じん肺健康診断費補助事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	229-3199	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	じん肺法、川口市補助金等交付規則、じん肺健康診断費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口鋳物工業協同組合・川口機械工業協同組合	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	じん肺法に基づくじん肺健康診断の受診促進を講じ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援する。	川口鋳物工業協同組合及び川口機械工業協同組合が行っている、じん肺健康診断におけるレントゲン検査・肺機能検査等及び研修会・研究会等に係る経費を対象とし補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	川口鋳物工業協同組合が実施したじん肺健康診断に対し、補助金を交付した。	じん肺健康診断の充実が図られ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	レントゲン受診者数			指標・目標値の説明(算定式)	じん肺健康診断におけるレントゲン受診者数(人) 目標設定がなじまない事業のため実績値のみとする					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	実績値・達成状況	532.00	—	515.00	—	512.00					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	5 細目	2 細々目	じん肺健康診断費補助事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
予算額(A)	2,500	2,500		2,500		2,500		2,500			
決算額(B)=(C)+(D)	2,253	2,146		2,119							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	2,253		2,146		2,119		2,500			
概算人件費(E)		395		395		395		385		385	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,648		2,541		2,514		2,885		2,885		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	粉じん作業従事者の健康のために欠かせない補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	その他保健衛生総務費			担当	保健部 保健総務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進		
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口歯科医師会補助金交付要綱、川口薬剤師会補助金交付要綱、川口食品衛生協会補助金交付要綱 等		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・一般社団法人川口歯科医師会、一般社団法人川口薬剤師会、川口助産師会、川口食品衛生協会、埼玉県柔道整復師会川口支部	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	・各保健衛生関係団体に補助することにより、市民の健康増進及び公衆衛生の向上を図る。	各団体の活動を支援するため、補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	・救急歯科診療、歯科健康診断・研修会、講習会・細菌検査・食品の自主検査の励行、巡回指導・街頭キャンペーン、パンフレット等の作成などの活動に補助金を交付した。	・歯科診療や歯科健康診断などにより、市民の歯科口腔衛生の向上が図られた。・講習会の開催、食品の自主検査の励行、巡回指導などにより、食中毒等の事故を未然に防止した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	1目	5細目	4細々目	その他保健衛生総務費			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	41,249	1,595		1,482		4,305		4,305		
決算額(B)=(C)+(D)	40,991	1,312		1,349						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	40,991		1,349		4,305				
概算人件費(E)	1,975		1,975		1,975		1,925		1,925	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	42,966		3,287		3,324		6,230		6,230	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	市民の健康増進、公衆衛生の向上のため必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	専門職員等研修費			担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-2334	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	保健所運営に関する法令その他通知等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	保健所内の専門職職員等	市民公衆衛生上の危機に直面する国内の住人	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公衆衛生上の危機に対する予防及び拡大の防止のために、専門職職員の知識及び技術の向上を図ることで、市民又は公衆衛生上の危機に直面した国内の住人の衛生を維持又は向上させる。	公衆衛生に関する専門的な研修に参加する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	日本公衆衛生学会総会、保健師等救急医療指導者講習会、結核研究所研修、PTSD対策専門研修、保健所技術系職員研修、新任環境衛生監視員研修会、動物指導業務担当職員研修会、新任食品衛生監視員研修会、特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習等。	各分野において必要とされる知識及び技術の取得により、各事象における個別対応力が向上し、衛生の維持又は向上に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	6 目	1 細目	2 細々目	専門職員等研修費			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	2,862	699		1,236		2,408	2,408			
決算額(B)=(C)+(D)	2,224	311		606						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	2,224		311		606	2,408			
概算人件費(E)	2,370		2,370		2,370		2,310		2,310	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,594		2,681		2,976		4,718		4,718	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	公衆衛生については、新たな感染症等、多種多様な事例や研究が逐次行われており、最新の情報や技術の取得には研修が必要となる。研修参加にあたっては、業務の効率及び参加機会の公平性も考慮しなければならないため、必要な研修の判断を行った上で参加することとする。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	衛生関連免許事業			担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進				
根拠法令等	医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法、栄養士法、調理師法等				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	衛生免許申請者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	衛生免許事業の適正な運営を図る。	1 厚生労働大臣免許に関する事務 申請書の受付、免許証の交付 2 知事免許に関する事務 申請書の受付、手数料の徴収、免許証の作成、免許証の交付	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・厚生労働大臣免許(新規494件、書換等287件)・知事免許(新規252件、書換等80件)	衛生免許制度の効率的な運営に資することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	厚生労働大臣免許申請処理件数			指標・目標値の説明(算定式)	申請に応じて処理する事務であるため、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	797.00		702.00		781.00				
指標②	名称	知事免許申請処理件数			指標・目標値の説明(算定式)	申請に応じて処理する事務であるため、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	284.00		326.00		332.00				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	6 目	2 細目	4 細々目	衛生関連免許事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	58	58		58		58		58		
決算額(B)=(C)+(D)	1	45		48						
財源※	特定財源(C)	45		48		58				
	一般財源(D)	0		0		0				
概算人件費(E)	3,950		3,950		3,950		3,850		3,850	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,951		3,995		3,998		3,908		3,908	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	事務手順を免許権者である国や県が厳密に規定していることから、本市独自の改善策の採用は困難である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	肝炎治療費助成事業			担当	保健部 疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6726	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、肝炎対策基本法

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	B型及びC型肝炎ウイルス性肝疾患に対する抗ウイルス療法(インターフェロン、インターフェロンフリー及び核酸アナログ製剤治療)を受ける予定、受けている、治療後経過観察中又は無症状保有者で経過観察が必要なもの	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	肝炎・肝がん・重度肝硬変患者の早期かつ適切な医療を促進することで、肝がんの罹患率の減少を図る。	・肝炎治療医療費助成の進達事務・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業申請の進達事務・肝炎重症化予防事業	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・肝炎治療医療費助成申請書類の受理及び県への進達・肝炎検査費用助成申請書類の受理及び県への進達・肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップ	進達業務を滞りなく実施する事で、対象者が医療費の助成を受ける事ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	フォローアップ事業フォロー数			指標・目標値の説明(算定式)	フォロー数÷陽性者数×100(%)					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況	80.00	達成	84.00	達成	89.00	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	7 目	3 細目	1 細々目	肝炎治療費助成事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	252	209		228		224		228		
決算額(B)=(C)+(D)	164	155		157						
財源※	特定財源(C)	164	97		157		224			
	一般財源(D)	0	58		0		0			
概算人件費(E)	7,900	15,800		15,800		15,800		15,800		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,064	15,955		15,957		16,024		16,028		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	初回精密検査及び定期検査費用助成の周知を図る。陽性者へのフォローアップ事業を電話等で確実に実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	感染症予防対策事業			担当	保健部 疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6726	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定されている一類から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の患者又は感染が疑われる患者及び医療機関	同左及びその他市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症の発生状況を把握し、まん延及び拡大防止を図り、市民の健康を守る。	・公費負担医療費の給付 ・エイズ・性感染症検査・相談 ・感染症患者調査、訪問、相談 ・エイズ予防普及啓発事業 ・感染症患者の移送 ・感染症発生動向調査事業 ・感染症予防普及啓発事業	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	感染症発生時に疫学調査を行い、濃厚接触者の特定と感染拡大防止のために検査を実施。陽性者の入院調整や相談。主に、新型コロナウイルス感染症対応を実施。感染症発生動向調査の実施。	陽性者へ健康観察などのフォローを行い市民の健康を守ることができた。濃厚接触者を特定して、検査を実施したことで感染拡大防止を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	HIV・梅毒即日検査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	受診者数÷受付可能人数×100(%)				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況	80.00		0.00	0.00	0.00	80.00	80.00		
	実績値・達成状況	65.00	0.00	0.00	達成					
指標②	名称	性感染症通常検査予約数			指標・目標値の説明(算定式)	予約数÷予約枠数×100(%)				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
	実績値・達成状況	80.00		80.00	80.00	80.00	80.00	80.00		
	実績値・達成状況	74.30	0.00	84.70	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	7 目	3 細目	2 細々目	感染症予防対策事業					
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	17,269	380,950		1,480,727		957,948	957,948					
決算額(B)=(C)+(D)	14,201	377,021		1,381,139								
財源※	特定財源(C)	3,958	222,737		540,296		668,998					
	一般財源(D)	10,243	154,284		840,843		288,950					
概算人件費(E)	86,900	102,700		213,300		215,600	215,600					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	11.00	0.00	13.00	0.00	27.00	0.00	28.00	0.00	28.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	101,101	479,721		1,594,439		1,173,548	1,173,548					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	新型コロナウイルス感染症対応の効率化(人員配置や応援職員の派遣依頼、事務改善)	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	精神保健福祉支援事業			担当	保健部 疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6748	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	「精神保健福祉法」、「自殺対策基本法」、「医療観察法」、「アルコール健康障害対策基本法」

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・一般市民・地域で生活する精神障害または疑いのある者とその家族・精神保健福祉相談支援に携わる職員	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	市民の精神的健康の保持増進を図るとともに、精神障害または疑いのある者が地域で安定した生活を送れることを目的とする。	①精神疾患の早期発見・早期治療 ②精神障害者の地域生活の支援 ③こころの健康づくりに関する知識の普及啓発 ④精神障害に対する正しい知識の普及 ⑤精神保健福祉に携わる人材の育成	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	①相談支援(訪問、面接、電話、精神保健福祉専門相談、アウトリーチ事業)②健康教育(こころの健康講座、家族教室、ひきこもり家族のつどい、心サポーター養成講座)③自殺対策事業(メンタルヘルスチェック、ゲートキーパー研修等)④事例研修会、研修等	普及啓発によって市民や関係機関からの相談が増加し、各機関と連携し支援することで市民の精神的健康の保持増進に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ゲートキーパー研修			指標・目標値の説明(算定式)	川口市自殺対策推進計画【2023年までの目標値】 ゲートキーパー研修受講者数5,000人 (令和元年度までの累計受講者数4,266人)				
	単位	人	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	700.00		200.00	200.00	200.00	0.00			
	実績値・達成状況	316.00	未達成	367.00	達成	322.00	達成			
指標②	名称	相談支援			指標・目標値の説明(算定式)	相談支援件数(延べ件数):訪問、面接、電話、メール、精神保健福祉専門相談での相談				
	単位	件	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	5,000.00		5,000.00	5,000.00	5,000.00	0.00			
	実績値・達成状況	6,289.00	達成	7,137.00	達成	6,353.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	7 目	4 細目	1 細々目	精神保健福祉支援事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	26,753	19,118		31,501		47,444		47,444		
決算額(B)=(C)+(D)	21,272	15,766		26,103						
財源※	特定財源(C)	13,677	15,183		15,232		31,915			
	一般財源(D)	7,595	583		10,871		15,529			
概算人件費(E)	71,100	79,000		79,000		84,700		84,700		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	9.00	0.00	10.00	0.00	10.00	0.00	11.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	92,372	94,766		105,103		132,144		132,144		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	メンタルヘルスの課題は全世代に横断的に存在し、疾病の発症や重症化が生活困窮や離職等の生活課題に及んでいる。更にコロナ禍の影響でストレスや不安を与え、メンタルヘルス課題が増大している。特に社会的変化の影響を受けやすい若年者に対し支援の必要性が高まっており、予防的視点から早期相談・支援を行う体制整備を図る。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	予防接種事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	予防接種法、特定感染症検査等事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	予防接種法に基づく定期予防接種対象の市民任意予防接種費用助成及び風しん抗体検査を希望する市民	左記のうち、定期予防接種を受けた者及び任意予防接種費用助成又は風しん抗体検査を受けた者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症に感染するおそれのある者に対し、感染症の発病予防、症状の軽減、蔓延防止を目的に実施する。	川口市医師会等と委託契約し、同会会員の市内医療機関等で定期予防接種を個別接種として実施する。また、費用助成制度のある任意予防接種及び風しん抗体検査についても、委託医療機関において実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・予防接種法に基づく定期予防接種の実施(ヒブ感染症、小児の肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、ロタウイルス、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ)・任意接種費用助成(おたふく、風しん)、風しん抗体検査	予防接種を実施することにより、感染症に罹患したものの重症化及び感染症の蔓延を防止することができた。また、風しん抗体検査を行うことにより、先天性風しん症候群の予防につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	BCG予防接種の接種率			指標・目標値の説明(算定式)	定期予防接種対象者数を接種者数で除した数値				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	2 細目	1 細々目	予防接種事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	1,703,656	1,904,013		1,757,902		1,853,908		1,853,908		
決算額(B)=(C)+(D)	1,594,903	1,834,473		1,652,914						
財源※	特定財源(C)	29,452	114,552		28,960		31,475			
	一般財源(D)	1,565,451	1,719,921		1,623,954		1,822,433			
概算人件費(E)	15,800	15,800		15,800		15,400		23,100		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	3.00 0.00			
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,610,703	1,850,273		1,668,714		1,869,308		1,877,008		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	・今後も定期接種の対象者等へ適切な周知に努めていく。 ・予防接種法の改正による定期接種の制度変更に伴い、事務作業量や問い合わせが増えていくため、会計年度任用職員の継続的な確保と正職員の増員について今後も検討を行っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 9 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	母子健康手帳の交付・・・妊娠の届出のあった川口市市民妊婦健康診査・産後健診・・・川口市市民の妊婦及び産婦	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	妊娠から出産、育児、予防接種、健康診査などの記録管理や、経済的な理由などで妊娠中及び産後の健康管理を怠ることがないように経済的負担の軽減を図り、母子の健康を守るものである。	・母子健康手帳を交付する。・妊婦健康診査及び産後健診助成券を交付し、公費助成を実施する。・委託契約外の医療機関で受診した場合、償還払いにて公費助成を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・妊娠届出のあった川口市市民に母子健康手帳を交付した。・妊産婦が、妊婦健康診査及び産後健診業務委託医療機関等に助成券を提出することにより、公費助成を実施した。・委託契約を実施していない医療機関等で妊婦健康診査・産後健診を受診した場合には、償還払いを実施した。	住民票のない外国人妊婦への母子健康手帳の交付をスムーズに行えるよう、フローチャート・マニュアルの見直しを行い、活用した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成券交付者数			指標・目標値の説明(算定式)	妊娠の届出をした者に対して、母子手帳及び助成券を交付することとなり、目標値を設定することがそぐわない。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	5,379.00		4,910.00		4,679.00				
指標②	名称	一人当たりの妊産婦の受診回数			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県母子保健データ(受診した数÷助成券を受け取った妊婦の数)を基に算出(*平成30年度より産後健診を追加)				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	11.31 未達成		11.27 未達成		11.42				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	3 細目	1 細々目	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	464,173	506,807		556,010		436,163		455,736		
決算額(B)=(C)+(D)	453,416	473,951		517,508						
財源※	特定財源(C)	9,957		66,983		66,362		13,276		
	一般財源(D)	443,459		406,968		451,146		422,887		
概算人件費(E)	7,110		7,110		7,110		7,110		7,110	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	460,526		481,061		524,618		443,273		462,846	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60		翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	乳幼児健康診査・健康相談事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市民の3か月児から6歳児および保護者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	対象児に対して、健康診査、健康相談を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	3. 4か月児・1歳6か月児健康診査は川口市医師会に委託し、健診を実施した。1歳6か月児歯科健康診査は川口歯科医師会に委託し、歯科健診及びフッ化物塗布を実施した。3歳児健康診査は内科、歯科健診を集団健診と個別健診を併用して実施した。	乳幼児の心身の発達等を促すとともに、保護者への相談指導を通して、育児不安等の軽減を図り、適切な対応ができるよう支援することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	3、4か月児健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県全市町村の平均受診率より算出(埼玉県の母子保健より)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	92.88	未達成	93.30	未達成	94.90	未達成			
指標②	名称	3歳児健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県全市町村の平均受診率より算出(埼玉県の母子保健より)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	85.20	未達成	71.20	未達成	97.80	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	3 細目	2 細々目	乳幼児健康診査・健康相談事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	101,606	119,055		151,527		153,080		145,132		
決算額(B)=(C)+(D)	90,862	102,213		125,476						
財源※	特定財源(C)	0		15,943		7,691		2,570		
	一般財源(D)	90,862		86,270		117,785		150,510		
概算人件費(E)	102,700		102,700		102,700		100,100		100,100	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	13.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	90,862		102,213		228,176		253,180		245,232	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	感染状況を考慮し集団健診は、1回の来場人数を減らし開催回数を増やす。個別健診は、受診可能期間を延長し、受診機会の確保に努める。受診率の低い外国人に対する周知や健診問診票の外国語版の作成等、対応を強化して引き続き実施する。受診勧奨通知や幼稚園・保育所等に受診勧奨ポスター掲示を依頼し、受診率向上を目指す。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	がん検診事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 41 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	胃がん(レントゲン)、肺がん、大腸がん 40歳以上の市民胃がん(内視鏡) 50歳以上の市民 子宮頸がん 20歳以上の市民乳がん 40歳以上の女性市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	各種がん検診を実施し、早期発見・早期治療し、市民のがんにおける死亡率の軽減に努める。更には、受診を通し市民が自ら生活習慣を見直し、がんに対し理解を深める。	がんの早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・肺がん検診(個別健診)・胃がん検診(レントゲン:集団検診、胃内視鏡:個別健診)・大腸がん検診(個別健診)・子宮頸がん検診(個別健診)・乳がん検診(視触診・マンモグラフィ:個別・集団検診)	がんの早期発見、早期治療、更には受診者本人及び家族、身近な人の健康意識の向上に結びついた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	子宮頸がん検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	実績値・達成状況	前年値を上回る	前年値を上回る	前年値を上回る	前年値を上回る	前年値を上回る					
	実績値	13.60	-	13.11	-	12.92	-				
指標②	名称	乳がん検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	実績値・達成状況	前年値を上回る	前年値を上回る	前年値を上回る	前年値を上回る	前年値を上回る					
	実績値	12.50	-	11.10	-	11.17	-				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	4 細目	1 細々目	がん検診事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
予算額(A)	738,801	787,923		798,826		777,814		777,743			
決算額(B)=(C)+(D)	724,852	728,458		795,401							
財源※	特定財源(C)	3,110		15,102		14,432		13,275			
	一般財源(D)	721,742		713,356		780,969		764,539			
概算人件費(E)		30,020		30,020		30,020		36,190		36,190	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.80	0.00	3.80	0.00	3.80	0.00	4.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		754,872		758,478		825,421		814,004		813,933	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	新型コロナウイルス感染症の影響で、受診者数、受診率が低下したが、感染対策に留意しながら実施し、少しずつ回復している。しかしながら依然として低い受診率であるため、周知の強化等受診率向上に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	健康診査事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	41	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	健康診査:40歳以上生活保護受給者。肝炎ウイルス検診:20歳以上過去未受診者。訪問歯科健診:概ね65歳以上、在宅で寝たきり。成人歯科健診・歯科ドック・口腔がん検診・かかりつけ薬局強化事業:30歳以上。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	疾病の予防および早期発見・早期治療を目的としている。	疾病の早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・健康診査・肝炎ウイルス検査・訪問歯科健康診査・成人歯科健康診査・歯科ドック・口腔がん検診・かかりつけ薬局強化事業(かかりつけ薬局での簡易血糖検査や受診勧奨)	疾病の早期発見・早期治療、また、受診を通して自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、健康に対する意識の向上につながった。さらに受診後にも健康相談等の継続したサービスの利用につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位			指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位			指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	8目	4細目	2細々目	健康診査事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
予算額(A)	87,360	80,948		79,785		80,420		80,420			
決算額(B)=(C)+(D)	77,178	70,102		73,819							
財源※	特定財源(C)	17,274	9,624		10,906		10,938				
	一般財源(D)	59,904	60,478		62,913		69,482				
概算人件費(E)	10,270	10,270		10,270		10,010		10,010			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.30	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	87,448	80,372		84,089		90,430		90,430			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	生活保護受給者の健康診査については、関係課の協力により受診者数が増加傾向にある。また、受診後の健康相談事業を実施した。今後も関係課と連携し、受診者数の増加及び、生活習慣病等重症化予防に取り組む。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	成人健康づくり事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	57	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民			同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	健康増進法に基づき、市民の健康の保持及び増進に資するため、疾病の予防、早期発見、早期治療、健康寿命の延伸等を目指した保健事業を総合的に実施し、壮年期からの有効な健康づくりに取り組む。また、がん患者の療養生活の質の向上を図る。			健康に関する正しい知識の向上と生活習慣の見直しを図れるよう、各種健康教育、健康相談、39ヘルスチェック等の健康相談、訪問指導等を実施した。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	健康教育:対面とオンライン、オンデマンドで開催71回健康相談:56回開催訪問指導:随時がん患者ウィッグ購入費助成:ウィッグの購入費用の一部を助成。			訪問指導は実・延人数ともに8名。がん患者ウィッグ購入費助成にかかる助成対象者は80名。健康教育ではICTの導入により参加が難しかった若い世代や就労中の参加が増え、壮年期からの有効な健康づくりに取り組むことができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康教育の延べ参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	健康教育の延べ参加者数(人) ※各教室が定員を満たした場合の延べ参加者数(各教室の定員の合計)とした。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	4,764.00	未達成	1,867.00	未達成	2,907.00	未達成			
指標②	名称	健康相談の延べ参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	健康相談の延べ参加者数(人) ※各種健康相談の来場予定数の合計とした。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	917.00	未達成	27.00	未達成	33.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	8目	4細目	3細々目	成人健康づくり事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	2,222	2,483		3,292		4,644		4,630		
決算額(B)=(C)+(D)	2,017	1,192		2,302						
財源※	特定財源(C)	381		164		243		279		
	一般財源(D)	1,636		1,028		2,059		4,365		
概算人件費(E)	48,980		48,980		40,290		39,270		39,270	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.20	0.00	6.20	0.00	5.10	0.00	5.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	50,997		50,172		42,592		43,914		43,900	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 /60	コロナ禍により対面での利用者が減少したため、Webを活用した健康教育や健康相談を取り入れ、広く周知啓発していく。また、集団で行う事業については、感染対策に留意し民間と協働で市民の利用しやすい事業を展開していく。				翌年度	効率化して実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	歯と口の健康フェスティバル事業			担当	保健部 地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 12 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市歯科口腔保健の推進に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市民	川口市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	乳児期・学童期・思春期・成人期・高齢期に至る全ての年齢で、う歯や歯周病の予防、口腔機能の維持を目的とした正しい歯科保健知識の普及啓発を行い、生涯を通じた口腔保健の向上を図る。	・歯と口の衛生週間に合わせ、市民に対し、歯科保健に関する啓発と口腔ケアの知識に関する体験・指導・相談・周知。・実施主体:市、歯科医師会、教育委員会・実施協力:歯科衛生士会、歯科技工士会	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	5 細目	1 細々目	歯と口の健康フェスティバル事業	
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	1,384	1,492	0	1,492	1,492			
決算額(B)=(C)+(D)	1,374	28	0					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	1,374	28	0	1,492			
概算人件費(E)	0	0	0	15,400	15,400			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,374	28	0	16,892	16,892			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		0 /15	効率性	期待どおりの成果		0 /15
	市関与の必要性				施策(上位目的)への貢献		
	将来的な市民のニーズ				目的に対する事業内容		
有効性	コストに対する成果		0 /15	公平性	受益者の資格条件		0 /15
	業務プロセス改善				受益者負担の水準		
	民間活用				対象者への周知		

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
0 /60	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催を中止している。次年度の開催については感染状況を見据えて、実施内容等、随時関係者と協議する。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	食品衛生事業			担当	保健部 食品衛生課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-7889	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食品衛生法、健康増進法、食品表示法、食品衛生法施行条例(県条例)、川口市食品衛生検査施設の設備及び職員の配置の基準を定める条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、食品等事業者 等	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	食品の安全性を確保するため、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、市民の健康を守る。また、特定給食施設等給食施設に指導助言を行い、市民の健康増進を図る。	①法令等に基づく許可及び届出受理②食品衛生監視指導計画の策定③HACCPに沿った衛生管理の推進④食中毒等の相談及び指導並びに予防啓発⑤特定給食施設等給食施設に対する指導助言⑥食品表示(衛生及び保健事項)に係る指導及び啓発⑦食品等事業者に対する研修等の実施⑧リスクコミュニケーションの実施	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	①許可及び届出受理2,607件・相談4,456件、②策定、公表及び実施、③相談170件・HACCPの取り組み確認のための監視118件、④相談207件・新型コロナウイルス感染症のため食中毒防止キャンペーン中止、⑤指導449件、⑥相談71件、⑦実施回数14回、⑧新型コロナウイルス感染症のため中止	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一斉監視等を見送ったが、通常業務の相談・施設監視等において、飲食に起因する衛生上の危害の発生防止並びに住民の健康増進に努めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	監視指導(食品衛生事業)			指標・目標値の説明(算定式)	食中毒対策のため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	1,499.00 未達成		1,333.00 未達成		1,069.00 未達成				
指標②	名称	食品検査			指標・目標値の説明(算定式)	市内の食品の安全性を確保するための検査の検体数。				
	単位	検体	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	194.00 達成		78.00 未達成		127.00 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	10 目	1 細目	2 細々目	食品衛生事業					
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
予算額(A)	6,165	5,231		1,933		4,047		4,047				
決算額(B)=(C)+(D)	4,096	1,881		1,375								
財源※	特定財源(C)	4,096		1,881		1,375		4,047				
	一般財源(D)	0		0		0		0				
概算人件費(E)	94,800		102,700		103,332		101,409		107,800			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	12.00	0.00	13.00	0.00	13.08	0.00	13.17	0.00	14.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	98,896		104,581		104,707		105,456		111,847			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	新型コロナウイルス感染症により、監視指導及び食品検査の件数の目標値未達成が続いた。今後も、食品衛生法等の一部を改正する法律により制度化されたHACCPに沿った衛生管理の取り組み状況を確認・支援していく。また、食品等事業者が行うHACCPの検証を行うための方法となる自主検査の実施を推奨していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	食肉衛生検査事業			担当	保健部 食品衛生課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-224-6995	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、川口市と畜場の設置場所及び構造設備の基準等を定める条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	と畜場設置者、認定小規模食鳥処理業者、届出食肉販売業者等	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	食肉等を起因とする衛生上の危害の発生を防止するために、食用に供するために行う獣畜等の処理を適正に確保し、獣畜等を検査し、市民の健康の保護を図る。	①と畜検査申請に基づくと畜検査の実施、と畜場の施設監視②精密検査業務③と畜場、認定小規模食鳥処理場のHACCPに沿った衛生管理の推進④認定小規模食鳥処理業者等の監視、報告、届出の受理	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	①検査頭数 5,155頭、施設監視 199件②微生物検査2頭、病理学検査20頭、理化学検査11頭の精密検査実施③HACCP会議3回、枝肉拭き取り等検査112頭、衛生講習会1回の実施④認定小規模食鳥処理場等施設監視件数 19件	と畜場におけると畜検査、と畜場及び認定小規模食鳥処理場等の監視を通して施設の衛生管理の向上、食肉・食鳥肉の衛生確保に努めた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	と畜検査			指標・目標値の説明(算定式)	食用に供するために行った獣畜の検査頭数。				
	単位	頭	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	5,000.00		5,100.00		6,000.00		6,000.00		0.00
	実績値	5,274.00	達成	5,871.00	達成	5,155.00	未達成			
指標②	名称	監視指導(食肉衛生検査事業)			指標・目標値の説明(算定式)	食肉・食鳥肉の安全を確保するため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	200.00		200.00		190.00		200.00		0.00
	実績値	196.00	未達成	211.00	達成	218.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	10 目	2 細目	1 細々目	食肉衛生検査事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
予算額(A)	16,634	14,967		14,520		16,802		16,802			
決算額(B)=(C)+(D)	14,734	12,819		12,699							
財源※	特定財源(C)	2,702	1,623		2,511		2,376				
	一般財源(D)	12,032	11,196		10,188		14,426				
概算人件費(E)	55,300	47,400		55,300		53,900		53,900			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	7.00	0.00	6.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	70,034	60,219		67,999		70,702		70,702			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	と畜場法及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の一部が改正され、HACCPに沿った衛生管理の実施が令和3年6月より義務化された。については、HACCPの適切な運用が課題となっているため、毎日の現場検査を通じて作業を確認するとともに衛生管理の更なる向上のため指導を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	衛生検査事業			担当	保健部 衛生検査課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-5348	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症法、食品衛生法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	各種検体検査を実施することにより、疾病の拡大防止及び食品衛生の向上を目的とする。	感染症検査食品等収去検査食中毒検体検査	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	感染症病原体等検査3類感染症接触者検診血液検査(QFT、STD)食品等収去検査食中毒検体検査	行政ニーズに対応し、検査項目の拡充を図った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	11 目	1 細目	2 細々目	衛生検査事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	71,966	145,208		147,608		90,973	90,973			
決算額(B)=(C)+(D)	62,267	110,665		139,088						
財源※	特定財源(C)	7,210	33,494		49,891		23,204			
	一般財源(D)	55,057	77,171		89,197		67,769			
概算人件費(E)	71,100	71,100		86,900		92,400	84,700			
従事職員人数(人)	常勤 9.00 再任用 0.00	9.00	0.00	11.00	0.00	12.00	0.00	11.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	133,367	181,765		225,988		183,373	175,673			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	感染症対策に伴う検査などの常に変化する行政ニーズに対応するため、新たな検査方法など常に最新の情報を収集し、検査の質・量ともに拡充を図る。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	小児夜間等救急診療事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、小児救急医療施設運営費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	こども夜間救急診療所及び市内3病院	救急医療を必要とする小児とその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	休日や夜間における小児救急患者に対応する。乳幼児を持つ保護者のホームケアを啓発し、不要不急の受診を減らし、小児医療の現場を守る。	・小児救急患者に対する救急診療の実施・小児医療講座の開催	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・初期救急においては、こども夜間救急診療所で平日は19時～23時、土・日・祝日・休日・年末年始は17時～22時に診療し、診療終了後から翌8時まで市内3病院で診療した。・第二次救急においては、市内3病院で平日・土曜日は18時～翌8時、日・祝日・休日・年末年始は8時～翌8時に診療した。・小児医療講座は中止とした。	小児夜間救急診療体制を確保し、広報紙や市ホームページ等で周知したことで、市民ニーズに対応したきめ細かいサービスの提供ができた。また、こども夜間救急診療所により、年間を通じて診療を行う拠点ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	パパ・ママのための小児医療講座参加者満足度			指標・目標値の説明(算定式)	参加者アンケートにおいて「(当講座内容が)役立つ」「まあまあ役立つ」と回答した割合				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	98.00	達成	0.00	—	0.00	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	3 細々目	小児夜間等救急診療事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	202,973	154,820		160,216		156,637		156,637		
決算額(B)=(C)+(D)	190,507	148,256		149,361						
財源※	特定財源(C)	16,951		39,225		45,644		64,273		64,273
	一般財源(D)	173,556		109,031		103,717		92,364		92,364
概算人件費(E)	9,480		9,480		9,480		9,240		9,240	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	199,987		157,736		158,841		165,877		165,877	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	こども夜間救急診療所が開設となったが、受診者が当初見込を下回っており、広く市民に周知するとともに、市民が安心して受診できる小児の診療拠点となるよう関係機関と更なる協議を重ねていく。小児医療講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した実施方法を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関支援事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	新型インフルエンザ等対策特別措置法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関	医療を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	新型コロナウイルス感染症対策として、適切な医療提供体制の整備を図る。	新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関等への補助金の交付等。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関等への支援を実施した。・入院患者や転院患者の受入に対する支援・医療従事者等への慰労金の給付・ワクチン接種体制の整備等への補助・往診医療機関や発熱外来設置医療機関への協力金の支給	新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関等への支援を実施したことにより、適切な医療提供体制の整備が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	9 細々目	新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関支援事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	0	1,477,146		1,496,556		212,569	212,569			
決算額(B)=(C)+(D)	0	1,230,492		1,110,956						
財源※	特定財源(C)	0		178,564		0	0			
	一般財源(D)	0		1,051,928		1,110,956	212,569			
概算人件費(E)	0		7,900		7,900		7,700		7,700	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		1,238,392		1,118,856		220,269		220,269	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	今後も新型コロナウイルス感染症の状況や国・県等の動向を注視しつつ、医療機関へ適切な支援を行っていく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	—

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	在宅当番医制事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	40	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市医師会		日曜・祝日に初期救急医療を必要とする市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	日曜・祝日の急な病気や怪我等の際に受診できる体制を確保する。		・休日等の初期救急医療体制の確保・休日等の初期救急医療体制の周知活動		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、市医師会所属協力医療機関により、1日4医療機関体制(病院・内科・小児科・その他)で診療業務を実施した。		市医師会の協力を得て受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報紙裏面に「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	1目	2細目	1細々目	在宅当番医制事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	26,671	23,338		23,311		23,311		23,311		
決算額(B)=(C)+(D)	25,040	23,309		23,309						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	25,040		23,309		23,309		23,311		
概算人件費(E)	1,422		1,422		1,422		1,386		1,386	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,462		24,731		24,731		24,697		24,697	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	厳しい財政状況と医師の高齢化や医師不足のため、今後この初期救急医療体制をどのように継続していくか、また、市民の医療に対する知識の普及・啓発が課題である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	在宅歯科診療事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	61	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口歯科医師会	日曜・祝日に歯科の初期救急医療を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	日曜・祝日の救急歯科患者に対応する。	・休日等における歯科初期救急医療体制の確保・休日等における歯科初期救急医療体制の周知活動	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、市歯科医師会所属協力医療機関により、1日2医療機関体制で診療業務を実施した。	歯科医師会の協力を得て、受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報紙裏面を「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	1目	2細目	2細々目	在宅歯科診療事業				
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
予算額(A)	12,289	11,131		11,131		11,131		11,131			
決算額(B)=(C)+(D)	11,942	11,131		11,123							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	11,942	11,131		11,123		11,131				
概算人件費(E)	1,422	1,422		1,422		1,386		1,386			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	13,364	12,553		12,545		12,517		12,517			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	9 /15	効率性	期待どりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
40 /60	日曜に診療を行っている歯科診療所も増えており、ニーズは低くなりつつある。しかし、祝日は診療をしている歯科診療所は少なく、高いニーズがあると考えられる。今後は、市民ニーズに対応した適正な救急歯科医療体制の整備を図れるよう、必要に応じて体制の見直し等を川口歯科医師会と協議していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	病院群輪番制運営事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 55 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市病院群輪番制運営事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)第1条に基づき埼玉県知事の認定を受け、病院群輪番制事業に協力申請のあった12医療機関	休日や夜間に診療が必要となる患者(特に入院の必要性が考えられる患者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	日曜・祝日・休日・年末年始の8時から18時まで(以下「休日」という。)及び全日の18時から翌日の8時まで(以下「夜間」という。)において、救急車及び初期救急医療施設からの転送重症患者の受入等(以下「第二次救急医療」という。)を確保する。	第二次救急医療を提供する体制を確保することに要した費用の一部を補助金として支出。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	当番医療機関(済生会川口総合病院他11医療機関)へ補助金を交付した。	休日・夜間において入院治療を必要とする重症患者の医療を確保できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	4 細々目	病院群輪番制運営事業	
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
予算額(A)	31,471	31,045		31,045		31,045		31,045
決算額(B)=(C)+(D)	31,400	31,044		31,044				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		
	一般財源(D)	31,400	31,044		31,044		31,045	
概算人件費(E)	2,765	2,765		2,765		2,695		2,695
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	34,165	33,809		33,809		33,740		33,740

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	病院群輪番制参加医療機関は、医師等各病院の規模が異なるため救急搬送受入患者数のばらつきが見られる。受入患者数のばらつきの改善は難しいが、参加医療機関に対し、可能な限りの搬送受入れをお願いしていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	外国人未払医療費対策事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 6 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱、川口市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	国立及び県立を除く県内の医療機関	医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより、救急医療体制の円滑な運営に資する。	市内に居所等を有し日本国籍を有しない者で、緊急を要す治療を受けた傷病者で、本人の債務により医療費の返済が行えない者に係る医療費のうち、1年以上経過した未収金に対し補助する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	対象医療費、入院時食事療養費のうち未収納金の補助を行った。	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより健全な病院経営に寄与し、地域救急医療体制の確保を維持することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	補助金交付件数(外国人未払医療費)			指標・目標値の説明(算定式)	補助金を交付した件数(人数) 目標設定がなじまない事業であるため実績のみとする					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	実績値・達成状況	1.00	—	1.00	—	5.00					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	5 細々目	外国人未払医療費対策事業					
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
予算額(A)	70	80		1,610		0		540				
決算額(B)=(C)+(D)	70	80		1,610								
財源※	特定財源(C)	35	40		0		0					
	一般財源(D)	35	40		1,610		0					
概算人件費(E)	395	395		395		385		385				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	465	475		2,005		385		925				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	外国人が増加する中で、急性期の傷病による救急医療を受けた一部の外国人の医療費未収金により、医療機関の負担が増加している。救急医療体制の運営を確保するため、未収金の一部を補助する一方で、補助金交付対象の医療機関に対し、積極的な未収金の回収に一層努めるよう求めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	公的医療機関運営費補助事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	特別交付税に関する省令、川口市補助金等交付規則、川口市公的医療機関運営費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内公的医療機関	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市域全体の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図る。	医療法第31条に定める公的医療機関である済生会川口総合病院が行う不採算医療部門の運営に要する経費に対し、補助金を交付。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	「特別交付税に関する省令」に基づき補助金の基準額を算定し、予算の範囲内の額を交付した。	採算性の低い診療分野が維持されるなど公的医療機関としての機能が維持された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	6 細々目	公的医療機関運営費補助事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	133,639	133,871		151,958		163,868		163,868		
決算額(B)=(C)+(D)	133,639	133,871		151,958						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	133,639		133,871		151,958		163,868		
概算人件費(E)	395		395		395		385		385	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	134,034		134,266		152,353		164,253		164,253	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	市域の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図るため、不採算医療部門の運営に要する経費に対し、今後も継続して補助金を交付する。また、市域の医療体制のさらなる拡充に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	済生会川口看護専門学校補助事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口看護専門学校補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	済生会川口看護専門学校	市内医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師を養成している看護専門学校への補助により、多くの卒業生に川口市内の医療機関に就職してもらい、看護師不足を解消する。	看護師養成事業に対して補助金を支出する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	看護師育成に必要な人件費、消耗器具備品費、研修研究費等に対して補助金を交付した。	最新の医療の動向を踏まえた教育を受け、質の高い看護技術を習得した学生が38名卒業した。卒業生のうち92%が市内の医療機関に就職し、市民に対する医療サービス提供体制の充実に貢献した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	7 細々目	済生会川口看護専門学校補助事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	4,270	4,270		4,270		4,270		4,270		
決算額(B)=(C)+(D)	4,270	4,270		4,270		4,270		4,270		
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	4,270		4,270		4,270		4,270		
概算人件費(E)	395		395		395		385		385	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,665		4,665		4,665		4,655		4,655	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	市内の医療機関で勤務する看護師を確保し、保健医療の充実を図るために必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業に関する協定書

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	埼玉県済生会川口総合病院	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	助成対象が公的医療機関として二次救急医療圏における小児医療、救急医療、災害医療、周産期医療等の一翼を担い、今後も引き続き安定した救急医療等を提供するとともに、さらなる医療提供機能の拡充を図り、地域に必要で高度な医療を安定的かつ継続的に確保する。	整備事業に要する借入金62億1793万1千円に対し、各年度の返済利子の2分の1以内の額を毎会計年度の予算の定めるところにより助成する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	返済利子の一部を助成した。	救急診療、新生児及び周産期医療体制の拡充により、市民に対し質の高い医療の提供が可能となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	2 細目	8 細々目	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	10,000	10,424		10,424		9,300	9,300			
決算額(B)=(C)+(D)	9,359	8,620		8,120						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	9,359		8,620		8,120	9,300			
概算人件費(E)	395		395		395	385		385		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,754		9,015		8,515		9,685		9,685	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	質の高い医療提供体制を確保するために必要な助成事業であり、今後も現状維持で実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	骨髄移植ドナー支援事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱、川口市骨髄移植ドナー助成金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した方。(以下「ドナー」という。)	骨髄移植を必要とする患者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	骨髄等提供したドナーの経済的負担を軽減するため助成金を交付し、ドナー登録の一層の拡大及びドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備を図る。	・骨髄等提供したドナーへ助成金を交付。・支援事業の周知活動。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・骨髄等提供したドナー1人につき、14万円(上限額)の助成をした。・骨髄移植提供に要した日数(上限7日)×2万円/日で算出した。	骨髄等提供したドナーの経済的負担の軽減が図られ、患者の骨髄移植機会の提供に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成金交付率			指標・目標値の説明(算定式)	助成金の交付申請をしたドナーに対する助成金の交付率				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	5 細目	1 細々目	骨髄移植ドナー支援事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	1,120	840		1,120		840		840		
決算額(B)=(C)+(D)	1,120	280		420						
財源※	特定財源(C)	560		140		210		420		
	一般財源(D)	560		140		210		420		
概算人件費(E)	316		316		316		308		308	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,436		596		736		1,148		1,148	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	5 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
42 /60	将来的な市民ニーズについて経過を観察し、今回の実績を更に上回れるよう助成金制度の周知方法の改善を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	医師会補助事業			担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実				
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市医師会補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	一般社団法人川口市医師会	市内の医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	医師会の活動を支援し、地域医療の推進、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図る。	一般社団法人川口市医師会に対する補助金を交付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	川口市医師会が行った地域医療推進事業、公衆衛生啓発事業、学術研究事業に対し、補助金を交付した。	・地域医療推進事業により、市民の健康保持増進が図られた。・学術研究事業により、川口市医師会員の学術レベルが向上し、質の高い医療サービスが提供された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	1 目	5 細目	3 細々目	医師会補助事業	
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	2,547	2,547	2,547	2,547	2,547			
決算額(B)=(C)+(D)	2,547	2,547	2,547					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	2,547	2,547	2,547	2,547			
概算人件費(E)	395	395	395	0	385			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,942	2,942	2,942	2,547	2,932			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	川口市医師会の活動は、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上のために重要なものであるため、今後も本事業を現状維持で実施する。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	医療安全相談事業			担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実				
根拠法令等	医療法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等			市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	患者、家族等の医療に対する信頼を確保し、患者本位の医療を推進するため、医療機関に対する助言、情報提供及び研修、並びに患者、家族等に対する助言及び情報提供を行う。			・患者、家族等からの医療機関に関する相談に対応し、助言や情報提供を行う。・医療機関を対象として医療安全に関する研修を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】	
	・医療安全相談(電話、メール、窓口等)(通年)・医療安全研修(11/26)			新型コロナウイルス感染症による受診控えが緩和傾向になり、またコロナ禍特有の相談も増え、相談件数は増加したが、医療安全意識の向上により、市民の安心・安全を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	医療安全相談件数			指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	件	指標の種別	結果		
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況	552.00	達成	393.00	達成	516.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種別			
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	6目	2細目	1細々目	医療安全相談事業	
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	25	10	50	50	50			
決算額(B)=(C)+(D)	25	10	0	0	0			
財源※	特定財源(C)	25	10	0	50			
	一般財源(D)	0	0	0	0			
概算人件費(E)	2,370	2,370	2,370	2,310	2,310			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,395	2,380	2,370	2,360	2,360			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
44 /60	新型コロナウイルス感染症に伴う、院内の感染対策やオンライン受診についての相談が増加した。また、医療内容の適正さや医療職の接遇について改善を求める声も多く、問題解決への期待値も高い。受益者(市民)に対し、医療安全相談で応需可能な内容の周知が長期的に必要である。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	医療施設指導等事業			担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	74-5725	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	医療法、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	医療機関開設者等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	医療施設関連法令の適正な運用を図る。	・医療機関等に関する許可・届出等・医療機関等に対する監視・指導等	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・病院・診療所への立入検査※コロナウイルス感染症の影響で書類検査(8~3月)・かかりつけ医療機関マップの更新(3月完成)	医療提供体制の整備により、市民の安心・安全を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	病院・診療所の定期立入検査			指標・目標値の説明(算定式)	病院:毎年実施 有床診療所:3年に1回実施				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	24.00	達成	25.00	達成	24.00	達成			25.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	6 目	2 細目	2 細々目	医療施設指導等事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	1,885	1,885		3,831		3,834		3,834		
決算額(B)=(C)+(D)	1,866	1,878		3,815						
財源※	特定財源(C)	106		125		119		138		
	一般財源(D)	1,760		1,753		3,696		3,696		
概算人件費(E)	15,800		15,800		15,800		15,400		15,400	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	17,666		17,678		19,615		19,234		19,234	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	立入検査の水準の向上のため、診療放射線技師、臨床検査技師等の専門職の配置が望ましい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	薬事関連施設指導等事業			担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	薬局開設者等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	薬事関連法令の適正な運用を図る。	・薬局等に関する許可、届出等・薬局等に対する監視、指導等	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・薬事関連施設に対する許認可及び監視指導(通年)・健康食品、家庭用品等の試買調査	医薬品等の供給体制の整備及び毒物劇物に係る安全管理の周知を行うことにより、市民の安全、安心を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	薬局・医薬品販売業者の監視指導件数			指標・目標値の説明(算定式)	薬局等に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	107.00 達成		98.00 達成		129.00 達成				
指標②	名称	毒物劇物販売業者の監視指導件数			指標・目標値の説明(算定式)	毒物劇物販売業者等に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	20.00 未達成		31.00 達成		29.00 未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	6 目	2 細目	3 細々目	薬事関連施設指導等事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	132	102		108		150		150		
決算額(B)=(C)+(D)	83	83		93						
財源※	特定財源(C)	83		93		150				
	一般財源(D)	0		0		0		0		
概算人件費(E)	15,800		15,800		15,800		15,400		15,400	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,883		15,883		15,893		15,550		15,550	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	監視員の知識・資質の向上が必須である。 複数の監視員が業務を遂行できるよう体制強化を図ることが必要。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	献血推進事業			担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-2334	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実				
根拠法令等	川口市献血推進連絡協議会補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民川口市献血推進連絡協議会	血液を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	献血思想の普及・啓発を図ると共に、献血により必要血液を確保するため、献血推進連絡協議会を中心とし、各地区・事業所などに協力を得て、献血の推進及び献血組織の指導・育成を図る。	・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付・献血思想の普及・啓発・関係機関との連絡調整	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・川口市献血推進連絡協議会の書面開催(6月)・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付・献血広報車運転業務の委託	血液事業の推進を図るとともに、血液を安定的に供給できる体制の確保に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	献血者数			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県献血計画における目標値				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	4,051.00		3,634.00		3,505.00		3,414.00		0.00
	実績値・達成状況	2,454.00	未達成	2,486.00	未達成	2,365.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4款	1項	6目	2細目	5細々目	献血推進事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	2,872	3,090		2,794		3,030		2,494		
決算額(B)=(C)+(D)	2,271	2,190		2,082						
財源※	特定財源(C)	64		64		64		64		
	一般財源(D)	2,207		2,126		2,018		2,966		2,695
概算人件費(E)	790		790		2,765		3,465		2,695	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.35	0.00	0.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,061		2,980		4,847		6,495		5,189	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	献血可能年齢人口の減少傾向に伴い、献血者を確保する方策を講じる必要がある。引き続き県や献血の実施主体である埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血者確保に努めていく。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	難病支援事業			担当	保健部 疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	74-5731	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	難病の患者に対する医療等に関する法律、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律、石綿による健康被害の救済に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	指定難病患者とその家族、原子爆弾被爆者健康手帳の交付を受けた人、石綿による健康被害を受けた人及びその遺族	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・指定難病患者の医療費の負担軽減及び疾病に対する不安の解消をするため・原子爆弾被爆者の医療費の負担軽減を図るため・石綿による健康被害を受けた人及びその遺族へ救済給付を行うため	・指定難病患者の医療給付支給認定申請、原子爆弾被爆者の医療給付の受理及び埼玉県への進達事務・在宅難病患者地域支援事業(療養計画策定・評価、訪問相談員育成、医療相談、訪問相談・指導)・石綿健康被害者及びその遺族からの給付申請の受付事務	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・指定難病医療給付新規、変更及び継続の案内、受付、進達・在宅難病患者訪問、面接相談、ケース支援検討会議、療養支援計画策定・難病対策地域協議会開催(書面開催)・難病相談支援者研修(動画公開)・原子爆弾被爆者、石綿健康被害医療給付申請受付、進達	・医療費、介護負担が軽減され生活の質の向上及び不安の解消に寄与した・疾病に対する理解を深めることができた	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ALS患者及び家族への療養支援			指標・目標値の説明(算定式)	ALS患者の療養支援計画の作成率				
	単位	率	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	100.00		100.00		100.00		100.00		0.00
指標②	名称	災害時医療機器使用者リストの更新			指標・目標値の説明(算定式)	災害時医療機器使用者リストの更新回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	12.00		12.00		12.00		12.00		0.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	7 目	2 細目	1 細々目	難病支援事業			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	11,074	1,501		17,598		20,065		20,065		
決算額(B)=(C)+(D)	9,248	1,493		16,824						
財源※	特定財源(C)	1,279		1,314		2,046		1,849		
	一般財源(D)	7,969		179		14,778		18,216		
概算人件費(E)	47,400		47,400		47,400		46,200		46,200	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	56,648		48,893		64,224		66,265		66,265	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	災害時医療機器リストを月に一度見直し・更新を図っている。これら最新の情報を踏まえた災害時を想定した難病患者の療養支援計画の策定、見直しを適宜実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	奨学金貸付事業			担当	保健部 看護専門学校	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-287-2511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実		
根拠法令等	川口市看護学生等奨学金条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	看護師を志望する看護学生等(看護師養成施設、保健師養成所、助産師養成所)で学業成績が良好で品行方正で身体強健な者で、卒業後に市内の医療機関等において、看護師等として就業を希望する者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	看護師が不足している現在、奨学金貸付事業を継続することで、より優秀な看護師を養成し、市内医療機関の看護師需要が確保でき、また市内医療機関の充実と、より高い看護能力を有する人材の育成を図ることが目的である。	・新入生に対して新規貸付、在校生に対して継続貸付・市内病院就職者の奨学金返還免除・免除対象者以外への返還依頼	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	年度当初に申請を募り、予算の範囲内で貸付決定を行っている。具体的には、川口市看護学生等奨学金条例に基づき、一人当たり年間36万円(月額3万円)の貸付を行った。	卒業生40名のうち貸付者は24名で、卒業後の進路については、貸付者24名全員が市内の医療機関に就職している。就職先の内訳は、川口市立医療センターが14名、他の市内医療機関が10名となっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位			指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位			指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市立看護学校事業特別会計		1 款	1 項	1 目	3 細目	1 細々目	奨学金貸付事業		
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算額(A)	24,480	23,760	22,890	25,200	25,200					
決算額(B)=(C)+(D)	21,870	22,440	22,890							
財源※	特定財源(C)	4,710	2,320	3,910	6,121					
	一般財源(D)	17,160	20,120	18,980	19,079					
概算人件費(E)	7,900	7,900	7,900	7,700	7,700					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	29,770	30,340	30,790	32,900	32,900					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	奨学金貸付希望者が増加傾向にあり、奨学生の選考が厳しくなってきたが、市内医療機関の看護師不足の解消や、優秀な看護人材の育成、確保に寄与するため、学生の学業成績及び生活態度等を十分に考慮し今後とも貸付を実施していく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	看護学科運営費			担当	保健部 看護専門学校	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-287-2511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実		
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	学校教育法第90条第1項に該当する本校の在校生。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師養成施設として、豊かな人間性を養い、看護専門職として必要な知識・技術・態度を習得し社会のニーズに対応できる有能な看護師を育成する。	・修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)を修得して看護師国家試験受験資格を取得する。・看護師国家試験に合格する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	看護師国家試験受験資格および国家試験に合格するために修業年限3年間で、所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)修得のため講義、臨地実習等を実施。	2月13日実施の第111回看護師国家試験は卒業生全40名が受験。全40名が合格し合格率100%を達成(全国合格率は91.3%)。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値								
	実績値・達成状況								
	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
単位	指標の種別		令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標値									
実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市立看護学校事業特別会計						2 款		1 項	1 目	1 細目	1 細々目	看護学科運営費	
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
予算額(A)	20,603		23,413		22,124		20,137		20,137					
決算額(B)=(C)+(D)	18,518		19,917		19,066									
財源※	特定財源(C)		18,518		19,917		19,066		20,137					
	一般財源(D)		0		0		0		0					
概算人件費(E)		86,900		94,800		94,800		88,400		88,400				
従事職員人数(人)	常勤	11.00		0.00		12.00		0.00		11.00		1.00		
	再任用													
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	105,418		114,717		113,866		108,537		108,537					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 /60	令和4年度にカリキュラム改正が行われたため、環境面や教育内容を改正内容に合わせていき、研修等の参加による看護教育の向上に取り組み、教育資源の集中を図っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	被保険者証発送事務費			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7669	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実		
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、川口市国民健康保険条例施行規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	被保険者であること又は被保険者証兼高齢受給者証対象者であることを証明し、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付等を受けることを可能とする。	①被保険者に対し被保険者証を世帯単位で送付する。②70歳から74歳までの被保険者に対し被保険者証兼高齢受給者証を世帯単位で送付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	毎年8月1日に更新(有効期限1年)される世帯、また、年度途中からの加入世帯への被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証の対象世帯への交付	被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証を受け取った被保険者が、健康の回復・維持のため、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付等を受けることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	被保険者証当初発送件数(世帯数)			指標・目標値の説明(算定式)	8月1日更新被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証交付世帯数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	87,000.00		85,000.00		85,000.00		85,000.00		0.00
指標②	名称	高齢受給者証当初発送件数(世帯数)			指標・目標値の説明(算定式)	8月1日更新高齢受給者証交付世帯数(令和2年度からは指標1に統合)				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	22,000.00		0.00		0.00		0.00		0.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計										被保険者証発送事務費															
年度	令和元年度					令和2年度					令和3年度					令和4年度					令和5年度					
予算額(A)	55,104					56,414					54,092					56,141					56,141					
決算額(B)=(C)+(D)	51,142					52,359					50,750															
財源※	特定財源(C)					0					0					0										
	一般財源(D)					51,142					50,750					56,141										
概算人件費(E)		67,940					67,940					67,940					66,220					66,220				
従事職員人数(人)	常勤		再任用			8.60		0.00			8.60		0.00			8.60		0.00			8.60		0.00			
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		119,082					120,299					118,690					122,361					122,361			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	返戻された被保険者証の再送付に係る事務作業及び郵送料が発生しているため、返戻世帯のうち居所不明世帯の居住実態を把握する取組を拡充する。これにより不現住と認められた世帯の資格喪失処理を行い、次の返戻数を減少させ再送付作業及び郵送料削減に繋げる		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	国保給付事務費			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	保険給付に係る申請、支給等に関する事務を適正に実施することにより、国保給付事業を円滑に遂行する。	①各種申請書等の作成、送付、受理及び審査②診療報酬明細書の点検③第三者行為損害賠償に係る共同事業④上記に係る会計年度任用職員の雇用	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	①各種申請書等の作成、送付、受理及び審査②診療報酬明細書の点検③第三者行為損害賠償に係る共同事業④上記に係る会計年度任用職員の雇用	被保険者が行う国保事務を国民健康保険団体連合会に委託することにより、事務の効率化や経費の節減が図られた。また、会計年度任用職員の雇用により、国保事業の処理が正確かつ円滑に執行された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計		1 款	1 項	1 目	2 細目	2 細々目	国保給付事務費			
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	79,110		81,244		80,952		81,289		81,289		
決算額(B)=(C)+(D)	73,773		70,959		76,891						
財源※	特定財源(C)	13		0		0		0			
	一般財源(D)	73,760		70,959		76,891		81,289			
概算人件費(E)		7,900		7,900		7,900		7,700		7,700	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		81,673		78,859		84,791		88,989		88,989	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	給付事務を適正に執行するための費用という性質上、その支出は適正であることが前提であるため、常に精査しなければならない。一方で、当該事務処理は、申請書作成・送付・受理・審査・振込など、膨大な事務量が発生するため、会計年度任用職員を雇用するとともに、事務の簡素化など業務効率化を図り実施していきたい。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	賦課事務経費			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7669	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実		
根拠法令等	地方税法、地方税法施行令、地方税法施行規則、川口市国民健康保険税条例、川口市国民健康保険税規則		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	納税義務者に対象期間の保険税額を知らせ、全額を納付してもらうことにより、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	被保険者がいる世帯の納税義務者に対して納税通知書を送付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	①継続して加入している被保険者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ当初納税通知書の送付。②年度途中からの加入者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ随時納税通知書の送付。③保険税額が変更となる場合、保険税の更正決定通知書の送付。	医療給付費等、国民健康保険制度の原資となる国民健康保険税の確実な収納に向け、賦課の決定理由、計算の根拠、保険税額及び個人明細、納付方法、納期等を納税通知書に明記し、納税義務者へ通知した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	当初納税通知書発件数			指標・目標値の説明(算定式)	当初(7月)賦課時の納税義務者数				
	単位	世帯数	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	89,000.00		87,000.00		87,000.00		87,000.00		0.00
	実績値・達成状況	90,154.00	達成	90,119.00	達成	89,380.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計		1 款	2 項	1 目	1 細目	1 細々目	賦課事務経費			
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	115,146		115,948		82,105		79,397		79,397		
決算額(B)=(C)+(D)	94,175		105,023		74,576						
財源※	特定財源(C)	2,774		9,952		40		38			
	一般財源(D)	91,401		95,071		74,536		79,359			
概算人件費(E)	82,081		82,081		82,081		80,003		80,003		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	176,256		187,104		156,657		159,400		159,400		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	①国民健康保険税の納付の利便性を高め、収納率向上に資するための口座振替率の更なる向上②新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和4年度以降法定外繰入が再び発生する見込みのため、その解消を段階的に図ることを目的とした国民健康保険税率等の見直し	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	事務処理標準システム導入事業			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国が開発した「市町村事務処理標準システム」の導入により事務遂行の効率化・コスト削減を図り、安定的な事業運営に寄与する	「市町村事務処理標準システム」及び補完システムを導入し、従前の国保システムからデータ移行を実施する	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	・庁内関係課、委託業者及び外部機関との作業調整・環境構築、パッケージ導入及びデータ移行・プログラム修正及び開発・システム導入後の研修作業	滞りなく当該システムの導入が完了し、翌年度からの運用経費縮減に繋げることができた	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種類				
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計										1 款	2 項	1 目	1 細目	2 細々目	事務処理標準システム導入事業						
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度													
予算額(A)	0		0		96,099		0		0													
決算額(B)=(C)+(D)	0		0		96,099		0		0													
財源※	特定財源(C)		0		0		71,360		0		0											
	一般財源(D)		0		0		24,739		0		0											
概算人件費(E)		0		0		790		0		0												
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		96,889		0		0												

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 /60	滞りなく当該システムの導入が完了し、翌年度からの運用経費縮減に繋げることができた。事業の目的を達成したため、事業完了とする。		翌年度	完了
			翌々年度	-

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	国民健康保険運営協議会経費			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、川口市国民健康保険条例、川口市国民健康保険条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	1 一部負担金の負担割合に関する事。2 保険税の税率に関する事。3 保険給付の種類及び内容に関する事。4 その他市長が国民健康保険事業の運営上重要なものと認めること。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	「事業の内容」に記載のある事項等についての審議。令和3年度は以下の日程で開催。・令和3年8月17日(火)(書面開催)・令和4年2月28日(月)(書面開催)	2回の会議により、国民健康保険事業の運営に関する重要事項が審議、決定された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市国民健康保険運営協議会開催数			指標・目標値の説明(算定式)	年度内に川口市国民健康保険運営協議会を開催した回数				
	単位	回	指標の種別	活動		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	実績値・達成状況	3.00	—	4.00	—	2.00	—	—	—	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計	1 款	3 項	1 目	1 細目	1 細々目	国民健康保険運営協議会経費			
年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	828	823		817		812		812		
決算額(B)=(C)+(D)	475	578		217		—		—		
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	475		578		217		812		
概算人件費(E)	2,370	2,370		2,370		2,310		2,310		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,845	2,948		2,587		3,122		3,122		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	協議会を構成する委員は、被保険者代表(市民)、国保医師薬剤師代表、公益代表となっており、各分野の意見収集が可能となっている。今後も、各委員に意見をいただきながら審議を行い、その時々に合わせて適正に会議を開催し、健全な国民健康保険事業の実施に繋げていく	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	保健衛生普及事業			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	被保険者の健康意識の高揚や医療費の適正化につなげることで、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	受診状況・医療費の金額を確認することができるよう、医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)を記載したハガキを、該当世帯に送付する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)を記載したハガキを、該当世帯に送付する。	医療機関への受診情報や被保険者数の増減の影響により変動はあるものの、一定期間内に医療機関に受診した者全員に対し通知を送付しており、健康意識の高揚や医療費の適正化につながっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計	5 款	1 項	1 目	1 細目	1 細々目	保健衛生普及事業	
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
予算額(A)	20,683	20,685	20,573	20,236	20,236			
決算額(B)=(C)+(D)	20,461	19,028	19,183					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	20,461	19,028	19,183	20,236			
概算人件費(E)	7,900	7,900	5,530	5,390	5,390			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	0.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,361	26,928	24,713	25,626	25,626			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	埼玉県国保団体連合会との共同事業として当該連合会が医療費通知を作成しており、作成費用は埼玉県国保連合会が負担している。また、郵送費については一部調整交付金で補填されている。国からの補助金を受ける際の評価項目の一つとなっており、より効果的な医療費適正化推進のため、引き続き事業を実施していきたい。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	後発医薬品利用促進事業			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	処方された医薬品を同一成分の安価な後発医薬品に切り替えた場合、自己負担額に一定以上の軽減効果が見込める被保険者に対し、差額を通知することで、医療費の負担軽減を促進するとともに、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	・対象者を抽出し、埼玉県国民健康保険団体連合会へ後発医薬品利用差額通知書の作成を依頼する。・作成された通知書を対象者へ送付する。・発送から半年後の効果を検証する。以上のことを年2回実施し、後発医薬品の利用を促進する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	後発医薬品の利用を促進するため、埼玉県国民健康保険団体連合会に依頼し作成した後発医薬品利用差額通知書を9月と3月にそれぞれ送付した。	医療機関への受診状況や被保険者数の増減の影響により変動はあるが、後発医薬品利用差額通知書の発送件数は減少傾向にあり、後発医薬品への切り替えが進んでいると考えられる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	後発医薬品差額通知作成(発送)件数			指標・目標値の説明(算定式)	年度内に作成(発送)した後発医薬品差額通知の件数				
	単位	件	指標の種別	結果		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	6,000.00		4,500.00		4,500.00		4,500.00		0.00
	実績値・達成状況	2,881.00	未達成	2,653.00	未達成	2,427.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計 5 款 1 項 1 目 1 細目 2 細々目 後発医薬品利用促進事業										
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	689		695		738		738		738		
決算額(B)=(C)+(D)	337		332		309						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	337		332		309		738			
概算人件費(E)	7,900		7,900		5,530		5,390		5,390		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,237		8,232		5,839		6,128		6,128		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	後発医薬品利用差額通知書の発送件数が過去3年間で3,546件・2,881件・2,653件と減少傾向ではあるが、今後も継続した促進が必要と考える。埼玉県国民健康保険団体連合会の協力のもとで、より効果的な通知の作成・発送に取り組みたい。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	疾病予防事業			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	58	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実				
根拠法令等	川口市国民健康保険被保険者の人間ドック検診料助成に関する要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	30歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	疾病を早期発見することにより、健康の保持増進を図る。	人間ドックの受診を勧め、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図るため、検診料の一部を助成する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図るため、川口市医師会と協定を結び、川口市医師会指定の医療機関において実施している人間ドックの受診を勧めるため、検診料の一部を助成。	実施(助成)件数は、令和2年度は6,469件、令和3年度は7,032件であり、件数・受診率共に増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えの影響を受けていると考えられる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	受診件数/対象被保険者数×100				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	8.54	未達成	6.34	未達成	7.11	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位			指標の種別						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計										5	1	2	1	1	1	1	1	1	疾病予防事業
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度											
予算額(A)	261,180		240,885		236,731		218,960		218,960											
決算額(B)=(C)+(D)	210,074		153,865		168,033															
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0												
	一般財源(D)	210,074		153,865		168,033		218,960												
概算人件費(E)	7,900		7,900		5,530		5,390		5,390											
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00						
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	217,974		161,765		173,563		224,350		224,350											

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	11 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
50 /60	受診率の向上のため、今後も広く周知を図って行きたい。また、川口市医師会と調整を行いながら、医療機関内での広報についても協力を求めている。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	特定健康診査事業費			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	若いうちから健康管理を行い、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上させ、医療費の適正化により医療保険の安定的な運営を目指す。	事業対象者に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を無料で提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	川口市医師会と委託契約を結び、川口市医師会指定の医療機関において、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施し、実施医療機関に対して事業対象者の自己負担金を除いた委託料を支払う。	特定健康診査受診により、より多くの被保険者の健康管理や生活習慣病の予防へとつながっている。なお、「3 事業活動・成果の状況」における令和3年度受診率は8月末現在の数値であり、11月頃に確定する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	受診者数/受診対象者数×100(令和元年度までの実績値は法定報告の数値)。平成30年度以降の目標値は第2期データヘルズ計画に基づく。				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	42.00		45.00		50.00		55.00		0.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計										5 款	2 項	1 目	1 細目	1 細々目	特定健康診査事業費
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度							
予算額(A)	382,231		323,135		408,667		391,607		391,607							
決算額(B)=(C)+(D)	356,974		288,502		377,376											
財源※	特定財源(C)		189,162		127,934		169,772		138,334							
	一般財源(D)		167,812		160,568		207,604		253,273							
概算人件費(E)	8,058		8,058		17,380		16,940		16,940							
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.02	0.00	1.02	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	365,032		296,560		394,756		408,547		408,547							

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 /60	国が定める特定健康診査等基本指針において、令和5年度までの目標値として特定健康診査実施率60%と定められているが、目標値には達していないのが現状である。令和3年度から特定健康診査の受診者自己負担金を無料としたところではあるが、引き続き適宜取組内容を見直ししながら、受診率の更なる向上を目指す。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	特定保健指導事業費			担当	保健部 国民健康保険課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査の受診結果により生活習慣病発症のリスクが高いと判断された被保険者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	対象者が特定保健指導を含む各種保健指導を受けることで、自らの生活改善を行い生活習慣病の発症や重症化を防ぐ。	①肥満を起因とする生活習慣病の予防を目的とした特定保健指導②糖尿病性腎症重症化予防対策事業③循環器疾患(虚血性心疾患・脳血管疾患)の重症化予防を目的とした保健指導	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	①9月～5月にかけて特定保健指導を行い、委託業者が市内公共施設等で個別に面接②8月から2月にかけて糖尿病重症化予防対策事業を行い、委託業者が個別に指導③健診受診後、検査数値によって生活改善の通知や医療機関受診を促す通知を送付し保健指導を行った。	特定保健指導の利用により、対象者の生活習慣が改善され、生活習慣病の発症の抑制につながっている。なお、「3 事業活動・成果の状況」における令和3年度利用率は8月末現在の数値であり、11月頃に確定する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定保健指導利用率			指標・目標値の説明(算定式)	利用者数/対象者数×100(令和元年度までの実績値は法定報告の数値)。平成30年度以降の目標値は第2期データヘルス計画に基づく。				
	単位	%	指標の種別	結果		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	22.00		30.00	40.00	50.00		0.00		
	実績値・達成状況	17.70	未達成	27.70	未達成	11.70	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市国民健康保険事業特別会計 5 款 2 項 1 目 2 細目 1 細々目 特定保健指導事業費									
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	21,465		27,699		38,218		43,020		43,020	
決算額(B)=(C)+(D)	18,754		19,234		27,677					
財源※	特定財源(C)		2,976		3,451		5,708			
	一般財源(D)		16,551		24,226		37,312			
概算人件費(E)	7,110		7,110		15,800		15,400		15,400	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	25,864		26,344		43,477		58,420		58,420	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	利用率は上昇傾向にあるが、さらに支援内容の充実と未利用者への勧奨を強化するため、効果の見える保健指導を行うことができるような委託業者を活用することが課題である。令和元年度から公募型プロポーザル方式で業者選定を行っており、引き続き指導力のある業者を選定していく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	健康診査事業			担当	保健部 高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	適切な健康管理、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上し、医療費の適正化により医療保険の健全な運営を目指すもの。なお、本事業は埼玉県後期高齢者医療広域連合からの受託事業である。	一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。受診者の自己負担は0円で、市が健診(検診)費用を川口市医師会に支出する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康診査助成者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	11,976.00 未達成		12,530.00 未達成		12,440.00 未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市後期高齢者医療事業特別会計		1 款	1 項	1 目	2 細目	1 細々目	健康診査事業		
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
予算額(A)	159,729		168,290		190,537		198,393		198,393	
決算額(B)=(C)+(D)	149,148		164,006		164,692					
財源※	特定財源(C)	101,535		122,406		138,268		153,970		
	一般財源(D)	47,613		41,600		26,424		44,423		
概算人件費(E)	2,370		2,370		2,370		2,310		2,310	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	151,518		166,376		167,062		200,703		200,703	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	受診者数の増加と重複受診が課題であり、健康長寿に関する資料を受診券に添付し、健康診査を推奨する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和3年度

事業名称	人間ドック検診料助成事業			担当	保健部 高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市後期高齢者医療被保険者人間ドック検診料助成に関する要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	被保険者が人間ドックを受診するにあたり、その検診料の一部を助成することにより人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進に資すること。	人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進を図るため、人間ドック検診料の一部の助成を行う。被保険者に人間ドック受診の勧奨を行う。受診者の自己負担は6,600円で、受診費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	人間ドックの受診者に対して、検診料の一部を助成した。① 検診単価 31,702円②自己負担額 6,600円③助成額(①-②) 25,102円	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、コロナ禍においてもなお、ある一定数の受診者がいたことから、健康管理に対する意識の向上が見受けられた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診助成者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	5,500.00		5,550.00		6,000.00		6,000.00		6,000.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市後期高齢者医療事業特別会計												
年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予算額(A)	138,627			140,531			152,300		152,284		152,284		
決算額(B)=(C)+(D)	125,895			95,641			105,790						
財源※	特定財源(C)			82,058			59,331		84,000				
	一般財源(D)			13,583			46,459		68,284				
概算人件費(E)		2,370			2,370			2,370		2,310		2,310	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		128,265			98,011			108,160		154,594		154,594	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療のために、健康管理システムをより活用していく。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合の補助金交付対象事業であるため、他の健康診査との重複受診防止に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和3年度

事業名称	後期高齢者医療保険料徴収関係経費			担当	保健部 高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第104条～115条

2 事業概要

事務分類		実施形態	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	後期高齢者医療制度の安定的な財源の確保	後期高齢医療保険料の収納、滞納整理に関する業務保険料賦課額の通知保険料の収納督促状・催告書の送付滞納保険料がある者に対する滞納処分や執行停止	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	窓口納付・口座振替開始通知・年金天引き切替督促状・催告書の送付電話催告分納誓約締結・差押(3月予定)・執行停止還付処理	電話催告、差押については実施できず。文書催告や分納誓約、口座振替により、現年度(普通徴収)分の収納率増加につなげた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	現年度分収納率			指標・目標値の説明(算定式)	現年度分収納率98.77%を目標とする				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	99.20		99.20		98.77		98.87		98.97
	実績値	98.48	達成	98.68	未達成	99.20	達成			
指標②	名称	滞納繰越分収納率(後期高齢者医療保険料)			指標・目標値の説明(算定式)	滞納繰越分収納率33.24%を目標とする				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度
	実績値・達成状況	33.30		33.30		33.24		33.28		33.32
	実績値	30.64	未達成	33.20	未達成	32.97	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市後期高齢者医療事業特別会計										1 款	2 項	1 目	1 細目	1 細々目	後期高齢者医療保険料徴収関係経費					
年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度												
予算額(A)	32,836		145,822		33,503		32,538		32,538												
決算額(B)=(C)+(D)	31,686		143,589		29,548																
財源※	特定財源(C)	0		529		0		0													
	一般財源(D)	31,686		143,060		29,548		32,538													
概算人件費(E)	15,800		15,800		15,800		15,400		15,400												
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00					
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	47,486		159,389		45,348		47,938		47,938												

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 /60	賦課業務を適正に行い、保険料の収納率を向上させる必要がある。保険料の収納率向上は制度の安定的な財政運営を確保するうえで極めて重要であり、普通徴収及び滞納繰越の更なる収納率向上が課題である。		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	効率化して実施